



～No.27 のトピックス～

- ・雪あかり 2014 in にしわが……………1頁
- ・平成 28 年 6 月から 119 番の受付を共同  
化します……………2頁
- ・119 番通報のポイントを教えます……………3頁
- ・Let's 応急手当……………3頁
- ・住宅用火災警報器の維持管理について……………4頁
- ・消火器の廃棄について……………4頁
- ・平成 25 年火災、救急出場件数……………4頁
- ・北上消防まめ知識……………4頁

雪あかり 2014 in にしわが



西和賀町では去る 2 月 8 日に毎年恒例の「雪あかり in にしわが」が開催されました。

雪あかりとは、雪像やミニかまくらなどを作り、中にろうそくを灯して楽しむという雪深い西和賀町ならではのイベントです。

今年も町内各地で趣向を凝らした作品が西和賀の夜を彩りました。

当組合も積極的に地域行事に参加し、町民と一緒にイベントを盛り上げました。

防火・防災意識の向上にも一役買ってくれそうです。

## 平成28年6月から119番の受付を共同化します

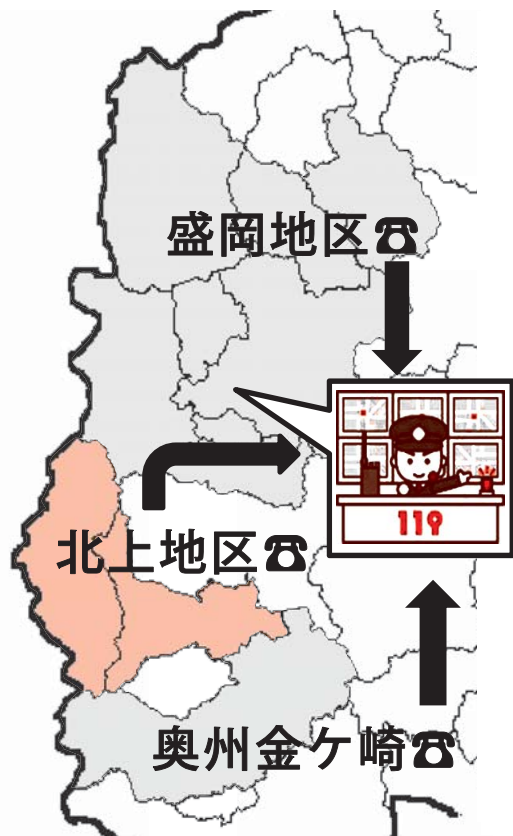
北上地区、盛岡地区及び奥州金ケ崎の3消防組合は、現在それぞれが行っている119番の受付を平成28年6月から共同化します。共同化には、次のようなメリットがあります。

- 機器の整備費用を安く抑えることができます。
- 担当する職員が少なくて済み、現場対応の職員を増やせます。
- 3消防組合間の応援体制が強化されます。

具体的には、盛岡市内に共同で消防指令センターをつくり、このセンターで5市7町(※)の119番通報を受付し、最寄りの消防署に出動指令を行います。

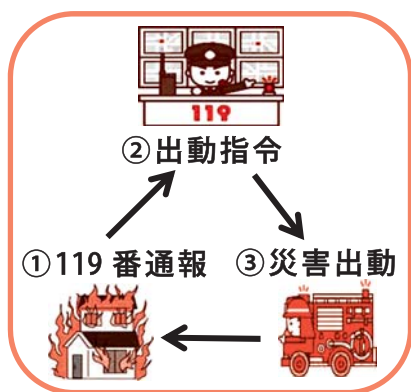
また、このセンターには、119番をかけた場所が自動的に地図に表示されるなど119番の受付から消防署への出動指令までの作業のほとんどを自動化した高機能なシステムを導入します。こうした共同化は、効率の良い行政を進めるため全国で取り組まれています。岩手県では初の取り組みとなります。

今のところ、施設の整備や細かい運用の取り決めなど共同化に向けた作業を本格化させたばかりですが、平成28年6月には万全の体制でスタートできるよう準備を進めています。



※北上市・西和賀町・盛岡市・滝沢市  
八幡平市・雫石町・葛巻町・岩手町  
紫波町・矢巾町・奥州市・金ケ崎町

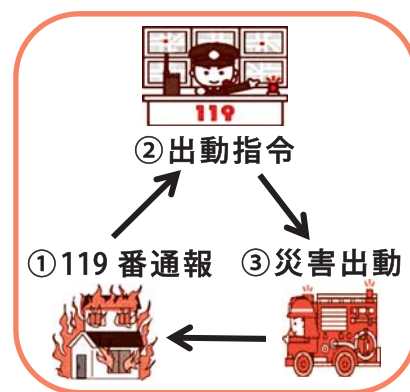
### 現在 奥州金ケ崎



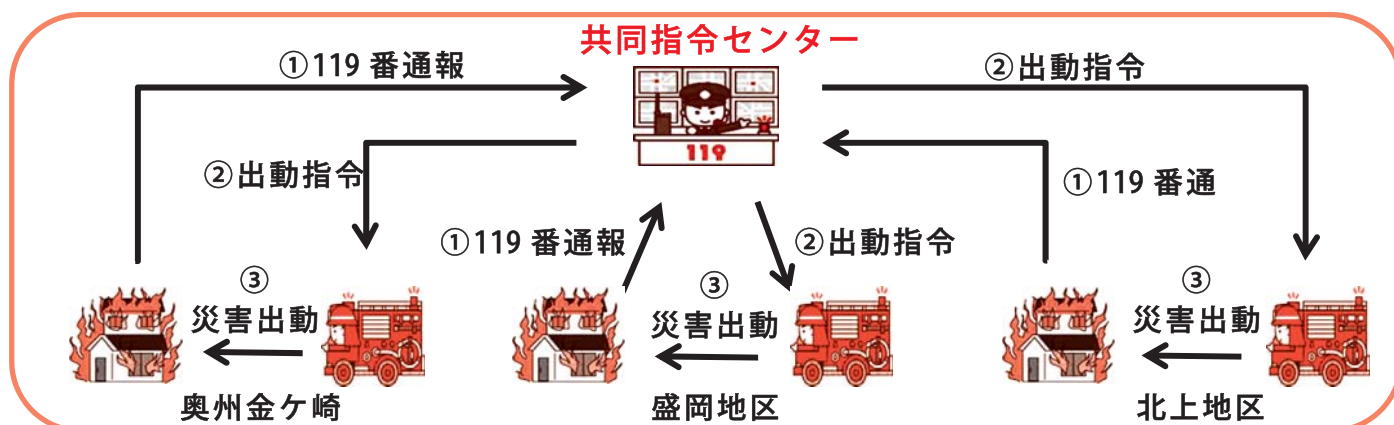
### 盛岡地区



### 北上地区



### 平成28年6月～





# 119 番通報講座

## 119 番通報のポイントがわかります

北上地区消防組合消防本部指令室では、平成 25 年中 4,570 件の 119 通報を受信しました。

なかには、自宅からの通報であっても正しい住所を言っていないだけなかったり、一方的に話をして電話を切ってしまうなどの通報もあり、救急車や消防自動車等が現場に到着する時間を要する場合があります。

そこで今年度から指令室では、公民館等に出向き、119 番通報の要点を事例なども交え説明させていただく講座を行っております。

受講を希望される方や団体は、指令室までお問い合わせください。



119 番通報講座の様子

担当：指令室 ☎0197-64-1122

## Let's 応急手当

## 講習案内

私たちは、いつ、どこで、突然のけがにおそわれるかわかりません。そんなときに、資格がなくてもできる手当のことを、応急手当といいます。病院に行くまでに応急手当をすることで、「悪化防止」や「苦痛を軽減」させることができます。

### 応急手当の一例

#### 三角巾を使った応急手当

三角巾は応急手当の基本であり、防災用品の中に 2 ~ 3 枚入れておくと、とても便利です。

三角巾のたたみ方(細長くして使用するとき)



【腕を吊る場合】(下の写真)

①下の写真のように副木(添え木)にしっかり固定。(三角巾 4 枚使用)

②三角巾 5 枚目を使用し、固定後、腕を吊ります。

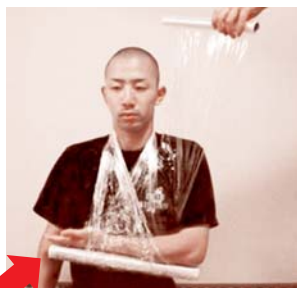


身近なものを使った応急手当は、とても簡単!!



#### 身近なものを使った応急手当

- ①新聞紙をクルクル丸めて、それにサランラップを巻きつけて添え木を作ります。
- ②添え木を骨折部位にあてがい、上からグルグルとサランラップを巻き、腕と添え木を固定します。



例)



※ストッキングを使っても腕が吊れます。

担当：警防課 ☎0197-65-5176

#### ▼ 応急手当の必要性 ▼

震災や風水害等で、同時に多数の負傷者が発生したとき、救急車が対応できない場合があります。このようなときは、自主救護に努めなければなりません。

## ●住宅用火災警報器（「住警器」）の維持管理について



火災での逃げ遅れによる焼死者の発生を防ぐため平成23年6月から住宅用火災警報器（「住警器」）の設置が法律で義務化されています。住警器は、火災の早期発見・早期消火・早期避難につながります。住警器は、電源を必要としますが、電池式の住警器は、設置してから年数が経過している場合、電池切れのため作動しないことも考えられますので、点検スイッチにより点検を行いましょう。

※ 住警器の設置義務がある場所は、主に住宅の寝室と寝室へ通じる階段の天井部分になります。

## ●消火器の廃棄について

防火指導の際、よく次のような質問をお受けします。

- ・消火器は何年もちますか？
- ・古い消火器の処分はどうしたらよいですか？



一般の消火器の耐用年数は、おおむね8年と言われており、安全に取り扱うための目安となります。

一般家庭に設置する消火器は、耐用年数が過ぎても交換の義務はありません。ただし、腐食した消火器を操作したことにより、消火器が破裂して操作した方が死傷するという事故が全国で発生していますので、さびが発生しているもの、大きなキズや変形箇所がある消火器は、大変危険ですから絶対に使用せず、また、衝撃を与えるような取扱いをしないでください。

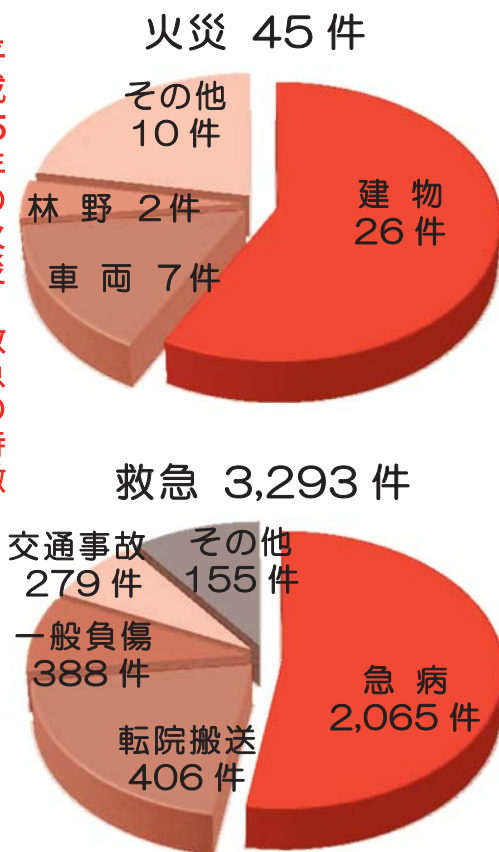
平成23年1月、消火器のリサイクルシステムの運用が開始されました。消火器は、一般ゴミとして出すことができないため、処分する際は消火器の取扱店、または、株式会社消火器リサイクル推進センターのホームページで確認してください。（平成21年以前に販売された消火器は、リサイクル料がかかります。）

## 平成25年 火災・救急出場件数

### 平成25年の火災・救急の特徴

火災件数は、平成24年と比較して1件減少していますが、死傷者の数では平成24年は死者がなかったのに対し、平成25年は死者が3人、負傷者が6人発生しております。

救急出場件数は、平成24年と比較して19件の増加となっており、「急病」が15件、病院から病院へ搬送する「転院搬送」が35件増加する一方、「交通事故」が33件、けがなどで病院へ搬送する「一般負傷」が29件減少しております。



### 北上消防まめ知識

#### 今年は40周年 北上地区消防組合

北上地区消防組合は、昭和49年（1974年）4月1日に発足し、今年40周年を迎えます。この間、市民市民の皆様のご理解をいただき、当組合の施設や装備は年々充実され、今日を迎えました。ありがとうございます。

これからも安心安全なまちづくりのため、皆様とともに歩んで参りたいと思います。

これからもどうぞ  
よろしくお願いいたします